

【ダンプトラック委員会工場見学会報告】

コマツ茨城工場・日立建機臨港工場・茨城ポートオーソリテイ

大型・超大型建設機械(ダンプトラック・ホイールローダ・油圧ショベル)の溶接・組立工場と船積港湾施設の工場見学会を行いました。フレーム溶接やダンプトラックの組立及び検査・出荷までの全工程を見学させていただきました。

開催日:平成22年1月28日

場所:茨城県ひたちなか市



「茨城港工業地域」--右地図

■工場見学の概要

1. 工場見学経路と大型建機製品・敷地面積



写真:インターネット上データを活用

2. コマツ茨城工場

2008年3月で真岡工場から全製品移管完了した。真岡工場から組立後分解して港へ輸送する手間を省き、環境面でもCO2削減(2300t/年)に大きな貢献をしている。自走可能な専用道路も設けてあり、タイヤ直径約3.5mの大型ダンプトラックが豪快に走る。主に鉱山作業用として使用されている。



船積み待ちの製品前で写真撮影
(茨城ポートオーソリティ構内)

3. 日立建機(株)常陸那珂臨港工場

2008年8月竣工され、大型油圧ショベル45t以上(最大805t)リジット式ダンプ150t以上(最大520t)を生産している。新幹線と同じA/Cモータ駆動式を採用しており、信頼性の高い製品群となっている。タイヤとベッセルは現地調達・組付としている。主に鉱山作業用として使用されている。



組立工場前で写真撮影

4. 茨城ポートオーソリティ(茨城港湾内)

2008. 12. 25に日立港・常陸那珂港・大洗港を統合し、茨城港としてスタートした。コンテナ・RO-R O・バラ貨物・フェリー貨物が一つの港で取扱可能である。主な航路は、国内では北海道(苫小牧・釧路)・北九州・四国(松山)航路、海外では欧州(ロッテルダム)・ロシア(ナホトカ)・北米(バンクーバー)・韓国(釜山)・中国(上海)がある。貨物量は2389万トン/年(2007年)。取扱品目は石炭・自動車・産業機械等々。

茨城港の優位性

①港湾施設の整備が着々と進捗

- ・ 東日本で唯一の水深14m岸壁 (東京湾諸港を除く)
- ・ 50t ガントリークレーン等



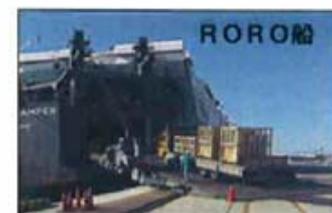
ガントリークレーン

②航路が充実

- ・ 北海道RO-R O航路
- ・ 世界各地へのコンテナ・RO-R O航路



コンテナ船



RO-R O船

③北関東自動車道と直結

- ・ 都内の慢性的な道路渋滞が回避
- ・ 東京湾諸港における荷役作業の時間が短縮

■まとめと御礼

ダンプトラック委員会の活動として大変有意義な工場見学会となりました。これからの委員会活動に役立てていく所存です。

工場見学のために多大な御協力賜りましたコマツ茨城工場および日立建機(株)常陸那珂臨港工場および茨城ポートオーソリティの関係者各位に御礼申し上げます。

以上
